



さとう じゅんいち
佐藤 潤一 教授

“ 出身地と名物など ”

東京都品川区

品川名物は深川井らしいです ”

専門分野

憲法学、国際人権論、サブカルチャー論など

Q 担当科目を教えてください。

A

【国際人権論】

国際的な人権保障の考えかたは第二次世界大戦後に発達しました。その大まかな流れを追いつつ、国内法との関係にも触れて講じます。なるべく具体的な事例を挙げて理解しやすいよう試みており、その一助として教材執筆も行っています。

【日本国憲法】

全学科目ですが、講義はだいたい学部ごとに開講されています。国際学部での講義では国際関係論、平和学との関連性も強調しつつ、時事的な話題を積極的に取り上げ、社会人基礎力と最近言われる知識を身に付けてもらうと工夫しています。

Q 専門分野に関する研究テーマの魅力を教えてください。

A

高校までは一緒に「社会科」と呼ばれた科目は、「社会を理解するための様々な知見の集合体」です。学問的には社会科学ともいいます。多種多様な学部があり、経済学部、経営学部、商学部、政策科学部、そして、語学との関係性が深い本学のような国際学部などがあるわけです。国際人権論は、こういった「社会を理解するための様々な知見」を人権保障という側面から見て行こうとするものです。大学に入って初めて学ぶ地域理解、国際理解、そして、多文化共生の理解に役立つ研究分野ですよ。

Q 先生の人となりをお教えてください。

A 大学に入るまではバンドをやったり、絵をかいたり、全然社会科学、法学（法学部なんですよ）に縁のない生活でした。大学に入って初めてというくらい真面目に勉強しましたね。勉強、学問、研究はやり始めると面白いですよ。ただそれ以外の経験も一つも無駄にはなりません。無駄になるかどうかは自分次第です。休みの日は映画を見たり、ライブにいったりしています（コロナ禍もあり、オンライン配信ばかり見っていますが）。いつもいろんな帽子をかぶってます。

Q 学生のみなさんへメッセージを！

A 自分でも経験がありますが、無駄になる経験はないと思っています。もちろん遊びにかまけすぎて、大学の講義に出ないことはみずから学ぶ機会を放棄することにつながります。講義にも出、なおかつ積極的に色々なことに興味を持ってなんでもやってみてください。